

基本的なパターン

掛図にマグネット付パーツや文字プレートをはっていきます。



1. 導入

できれば「女子の成長」「男子の成長」を併用して、どちらが女子か男子か？どこをぬげばわかるかな？などと問いかけ自由に発言させれば、リラックスした導入にすることができます。

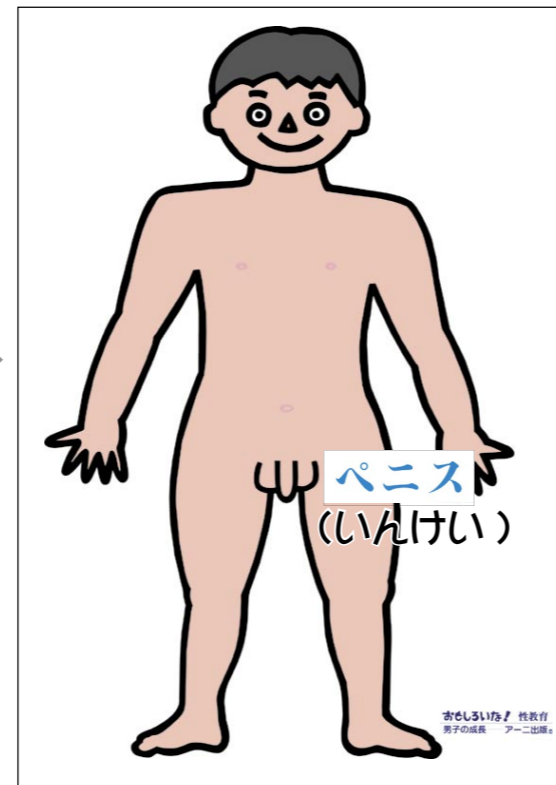
その場合、「赤い帽子をかぶっているから女子！」と答える児童がいたら、女子は赤やピンク、男子は青い服といった固定観念こそ問題であることを教え、他にも、「女らしく」「男らしく」のような固定観念はないかなど考えさせたい。男女平等の視点にたった性教育をすすめるための工夫が必要です。



2. はだかになると…

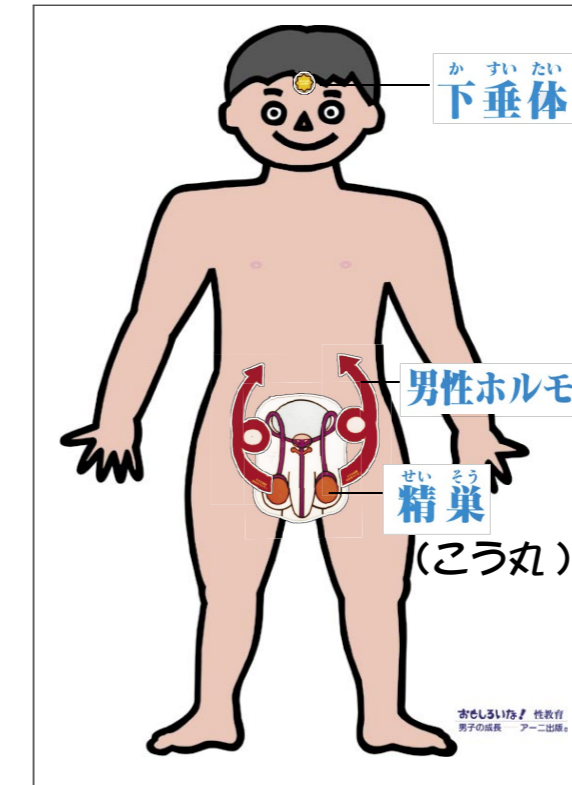
男子の性器、ペニス（いんけい）、精巣（こう丸）など、正しい名称をおぼえさせる。

（内性器の名称はこのパンフレット4頁にあります）



3. 下垂体という目覚まし時計が鳴ると…

12～13歳ごろになると、脳の下垂体前葉から性腺刺激ホルモン（性ホルモンの分泌を誘発するホルモン）が出て精巣（こう丸）に働きかける。すると、精巣（こう丸）からは男性ホルモンが分泌され血液にまじってからだ中にゆきわたる。そして、二次性徴があらわれる。

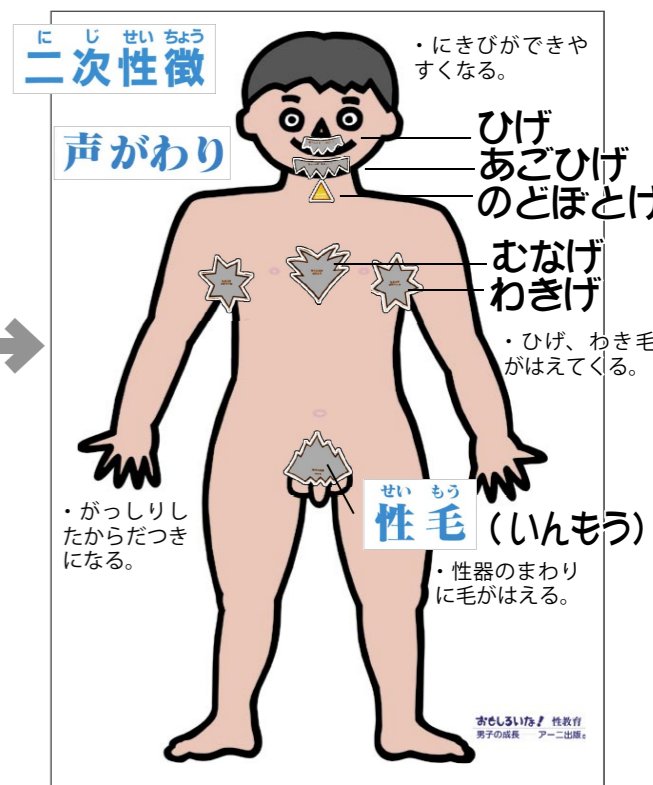


●二次性徴=あかちやんが生まれたとき、その性器で男の子か女の子かをみわけが、それが一次性徴。思春期になって性的特徴の差異がはっきりあらわれるのを二次性徴という。

4. 二次性徴

からだはどんなふうにかわるのかな？ マグネット式のひげ、のどぼとけ、性毛などの各部品を児童たちに配り掛図にはらせる。全員参加の楽しい授業が展開される。

ひげ、あごひげ、のどぼとけ（声がわり）、むな毛、性毛がはえ、がっしりした体つきになる。



●チン毛などは、正しく性毛とよばせよう。
●二次性徴発現の時期は個人差があることを話す。

1. 男子の性器



おなかの中にも性器はあります。横から見た絵です。右下は正面から見たところ。

精巣（こう丸）、精巣（こう丸）上部（副こう丸）、精管、尿道、ペニス（いんけい）など各器官の名称をおぼえさせよう。

（内性器の名称はこのパンフレット4頁にあります）

2. 産生される精子／精子ってなーんだ？

精巣（こう丸）の中では、1日に7000万～1億もの精子がつくられるようになる。（精巣に精子をはる）

3. 精子は、グルグルまわって

精巣（こう丸）でつくられた精子は、精巣（こう丸）上部（副こう丸）で成熟しグルグルと精管をまわってペニスからとびだしていく。とちゅう、精のう、前立腺、クーパー腺などから、精子に栄養を与える、精子の運動を促進させるなどのさまざまな役割をもった液が出され、まぜあわされて精液となる。

4. ぼつき／射精／精通

精液がペニスからとびだしていくことを射精といい、初めての射精を精通という。射精が起こるときはペニスがかたく立って立つが、これをぼつきという。

眠っている間に性的な夢をみて射精することもあるが、これを夢精という。たまった精子を自分で放出させるマスターベーションもこの時期から始まるが、誰でも経験すること心配はない。

